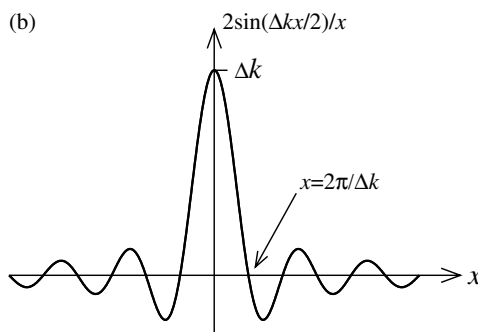
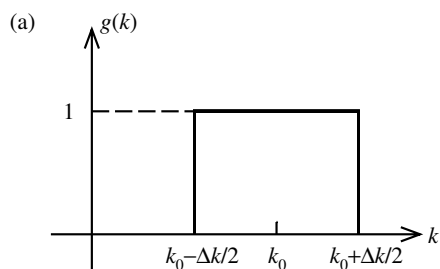


「振動と波動」第2刷正誤表

更新日：2008.01.30

(2008.03.12 発行の第3刷では修正済み)

- 18 ページ 式 (1.50) の 2 行下
誤： ω_0 に対して， λ を変化させるとき，この $\lambda = \omega_0$ の場合に
正： ω_0 に対して， γ を変化させるとき，この $\gamma = \omega_0$ の場合に
- 51 ページ 3 行目
誤：3 質点の変位は波線で示した正弦関数
正：3 質点の変位は破線で示した正弦関数
- 58 ページ 式 (3.19) の 3 行下
誤：固有振動数が求まり，
正：基準振動数が求まり，
- 58 ページ 式 (3.19) の 4 行下
誤：固有振動数は決まらない．
正：基準振動数は決まらない．
- 80 ページ 3.5.1 節の 2 行目
誤：小さな固有振動数のみの重ね合わせ
正：小さな基準振動数のみの重ね合わせ
- 80 ページ 3.5.1 節の 3 行目
誤：小さければ固有振動数 ω_j が
正：小さければ基準振動数 ω_j が
- 172 ページ 図 6.9 .
誤：(a) の図の横軸の $k - \Delta k, k + \Delta k$
正：(a) の図の横軸は $k - \Delta k/2, k + \Delta k/2$



- 172 ページ 図 6.9 の説明文
誤：(a) に示すように， $k_0 - \Delta k$ から $k_0 + \Delta k$ までの波数
正：(a) に示すように， $k_0 - \Delta k/2$ から $k_0 + \Delta k/2$ までの波数
- 177 ページ式 (6.35) の下の行
誤：波数の不確定さは
正：波数の広がりは
- 184 ページ 3 行目
誤：波束の反比例関係により
正：波束の広がりの反比例関係により
- 203 ページ D.1 弾き初めの弦の運動の 2 行目の最後
誤：微小領域 $x_0 \leq$
正：微小領域 $x_0 \leq x \leq$
- 224 ページ，式 (K.7)

誤：

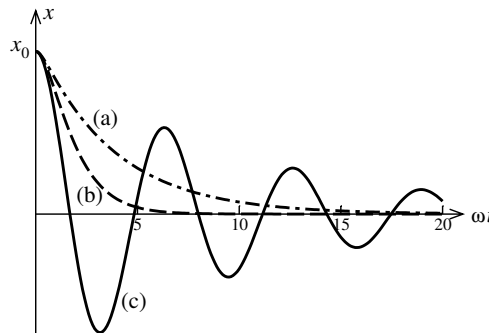
$$x_1(t) = \sqrt{\frac{m}{k}} u \left(\frac{\sqrt{2 + \sqrt{2}}}{4} \sin \omega_1 t - \frac{\sqrt{2 - \sqrt{2}}}{2} \sin \omega_3 t \right).$$

正：

$$x_1(t) = \sqrt{\frac{m}{k}} u \left(\frac{\sqrt{2 + \sqrt{2}}}{4} \sin \omega_1 t - \frac{\sqrt{2 - \sqrt{2}}}{4} \sin \omega_3 t \right).$$

間違えではないが，次回修正したいところ：

- 15 ページ 図 1.10 横軸に目盛りを入れる。



- 118 ページ 式 (5.12)
現行： $v = 280\text{m/s}$
改定案： $v = \sqrt{P_0/\rho} = 280\text{m/s}$
- 同じく 118 ページ 式 (5.13)
現行： $v = 331\text{m/s}$
改定案： $v = \sqrt{\gamma P_0/\rho} = 331\text{m/s}$

最終更新日：2008.01.30 以降に発見された修正箇所については，第3刷正誤表などに記載されています．それらをご参照下さい．